

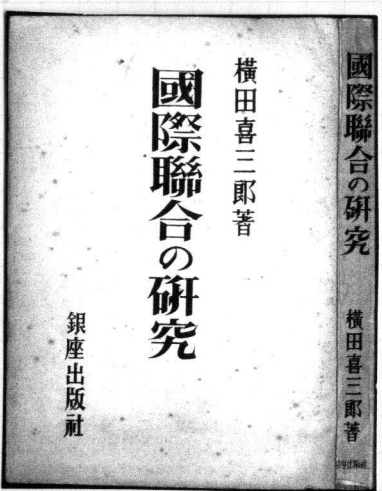
横田喜三郎 よこた きざぶろう 國際法學者、法學博士。明治二十九年八月六日愛知縣生れ、平成五年一月十七日歿（八五六一一九九三）。舊姓岩田。大正十一年東京帝國大學法學部卒。昭和五年同大教授。二十一年國際連合國國際法委員會委員、二十五年最高裁判所長官等歴任。五十六年文化勳章受章。日本學士院會員。

著書 『國際法』（昭和八年十一月十日岩波書店「岩波全書」）、ケルゼン著『純粹法學』（譯、昭和十年四月十五日岩波書店）、『岩波法律學小辭典』（共編、昭和十一年十一月十五日岩波書店）、『國際裁判の本質』（昭和十六年五月二十五日岩波書店）、『國際條約集』（神川彦松共編、昭和十六年七月十五日岩波書店）、『海洋の自由』（昭和十九年一月十日岩波書店「國際法學叢書」）、『國際法の法的性質』（昭和十九年四月五日岩波書店「國際法論文叢書」）、『民主主義の二講』（合著、日本放送協會編、昭和二十一年十一月二十日日本放送出版協會）、『ポツダム宣言と日本の將來』（昭和二十一年十一月二十日社會教育聯合會編「八民叢書」）、『國際聯合の研究』（昭和二十一年五月二十五日銀座出版社）、

『國際民主主義』（昭和二十一年六月二十五日革新社「民主主義講座」）、『戦争犯罪論』（昭和二十二年七月二十日有斐閣「法學叢書」）、『新憲法の研究』（合著、



國家學會編、昭和二十一年七月二十日有斐閣）、『戦争の放棄』（昭和二十二年十月二十日國立書院



「新憲法大系」()、
「愛國の理想と民主主義」(合著、昭和二十二年)
八月、二十日文理書院)、
「民主主義の理論」(合著・^{堀内琴}横俊雄編、昭和
二十四年二月一日愛育社)、
「大正同盟と日本」等、二次大戦の準備文
庫() (合著・讀賣新聞社科學部編、昭和二十四年十月、二十五日高山書
院)、
「世界人權宣言」(合著・田村隆治編、昭和二十五年四月一日
自由人協會)、
「民主主義の廣く理解のため」(昭和二十六年七月
十五日河出書房「市民文庫」)、
「ロバリの奇跡」(昭和二十七年十月
十日勤草書房)等。